

18歳年齢人口の減少や経営財源である運営費交付金の縮減など、大学を取り巻く環境が厳しさを増す中、横浜市立大学が今後「社会情勢の変化に柔軟に対応できるしなやかで芯のある大学」としてさらに発展していくため、経営審議会と教育研究審議会の分科会として新たに「改革推進会議」を設置し、さらに下部組織として5つのプロジェクトを立ち上げて、不断の経営改革を推進していきます。

「外部資金・産学連携プロジェクト」、「学部・研究費あり方プロジェクト」、「拠点等のあり方プロジェクト」、「DX推進プロジェクト」、「附属2病院の経営改善プロジェクト」の各プロジェクトの取組を「改革推進会議」において有機的につなげていくことで、法人全体の改革を確実に実行していきます。

大学に求められる役割が大きく変化する中、この難局を改革の好機と捉え、自律的かつ持続可能な法人経営の実現に向けて教職員一丸となって取組を進めていきます。

《横浜市立大学 経営改革の推進体制 概要図》

